



*2009年1月現在

津波により児童74人と教職員10人が死亡・行方不明となった大川小。河口から約3.7km内陸に位置する大川小には、津波は到達しないと思われていました。しかし津波は川を遡上し、校舎の屋根(8・6m)までの高さとなって襲ったのです。大川地区では児童・教職員、そして多くの住民たちが犠牲となりました。

施設は犠牲者の慰霊・追悼の場であり、震災をめぐる事象と教訓、避難の重要性を考える防災教育の場として公開されています。遺構では津波の威力をねじり倒された渡り廊下などを柵の外から見学できます。大川震災伝承館には展示室と多目的スペースを設け、震災前の暮らしや地域のジオラマ模型のほか、発災当日の児童と教職員の足取りや人々の想いを記したパネルなどを展示。裁判記録や被災した校舎の内部を撮影した写真も閲覧もできます。

大川震災伝承館には、地震発生から津波が押し寄せるまでの時系列や証言を記したパネルを展示。なぜ多くの命が失われたのか、どうすれば助かったのかを、自分が住む場所を思い浮かべながら考えてみよう



遺構の内部には立ち入ることができないが、柵の外から見学できる。柵の付近に解説パネルやメッセージも設置されている。語り部を希望する場合は自身で伝承団体などに申し込む必要がある



校舎から体育館へつながる渡り廊下。鉄筋コンクリート製の廊下が、津波の威力で根元からねじり倒されている。大川小を襲った津波の力がいかにすさまじいものだったのかを感じられる

●いしのまきし

石巻市

石巻市震災遺構大川小学校

川と陸から襲った巨大津波の威力を伝える



最大震度 6強
浸水面積 73km²
最大浸水深 25.99m



全壊 20,044棟
半壊 13,049棟
一部損壊 23,615棟



死者 3,188人
行方不明者 414人
負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

車椅子OK

※校庭は天候次第でぬかるむ場合あり

施設DATA

●いしのまきしんさいいごうおおかわしょうがっこう

石巻市震災遺構大川小学校

☎ 0225-24-6315 MAP P114D3

①石巻市釜谷字雫島94

②三陸沿岸道路河北ICから車で20分

③9~17時(大川震災伝承館は最終入館16時30分)

④石巻市震災遺構大川小学校は無休。大川震災伝承館は水曜(祝日の場合は翌日)。特別開館日である毎月11日、6月12日、9月1日、11月5日が水曜の場合は翌日)

⑤無料

⑥あり(大型バス:あり)

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/ruins/index.html>



注①出典:東日本大震災からの復興・復興の歩み 取組の総括,令和4年3月,石巻市

考えてみよう

Q1 ねじり倒された渡り廊下は、海側に向かって押し出されるように倒れています。なぜそのような向きになったのでしょうか?

Q2 大川震災伝承館には、「様々な想い」と題したコーナーがあり、生き残った人たちの想いがつづられています。何のために設置されたのでしょうか?

A1 川を遡上した津波が海に向かって押し寄せた。津波は海から来るとは限らない。
A2 生き残った人たちの思いを知り、「自分だったら」と考えてほしいから。